

よこはま動物園ズーラシア インドライオンの「ガウリー」が死亡しました



元気なころの「ガウリー」

よこはま動物園で飼育していたインドライオンの「ガウリー」が死亡しましたので、お知らせします。

○インドライオン「ガウリー」

- (1) 性 別 メス
- (2) 出 生 日 平成12年6月3日 (21歳9か月)
- (3) 死亡日時 令和4年3月2日 (水) 8時30分死亡確認
- (4) 死 因 老衰。病理所見により肺腫瘍および腎不全の疑いあり。
- (5) 経 過 令和2年頃より血液検査により腎機能低下が認められていましたが、食欲、元気はありました。令和4年2月中旬から食欲が低下し、活動的ではなくなりました。2月26日より食欲は極端に低下し、3月2日に死亡を確認しました。

●ガウリーのプロフィール

平成12年(2000年)によこはま動物園で生まれました。

活発な個体で、エサを食べる時などはいつも騒がしくしていました。かつては両親や兄弟姉妹の9頭の群れで暮らしていましたが、近年は1頭で過ごしていました。



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問い合わせ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法 Tel 045-959-1298

【参考資料】

■インドライオンについて

和名	インドライオン
英名	Asian Lion
学名	<i>Panthera leo persica</i>
分類	食肉目 ネコ科
分布	インド北西部ギルの森林保護区とその周辺
生態	インドにすむライオンの亜種で、アフリカのライオンと比べると、やや小柄で概してたてがみが短く尻尾の房毛が長いとされている。また、下腹部にひだ状の皮膚のたるみがあることも違いの一つ。かつては中近東からインドにかけて広く分布していたが、狩猟や開発による生息域の破壊によって、現在はインドのギル森林保護区を中心に数百頭が残されているだけになっている。
ワシントン条約 (CITES)	附属書 I : 絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧 I B 類 (EN) : 近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
当園飼育頭数	1 頭 (オス 1 頭、メス 0 頭) ※令和 4 年 3 月 7 日現在 ※今回死亡した個体は含む
国内飼育頭数	2 園館 2 頭 (オス 2 頭、メス 0 頭) ※令和 4 年 3 月現在

■よこはま動物園ズーラシアについて

◆入園料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料

毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）

よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円

◆開園時間：9:30～16:30（入園は 16:00 まで）

◆休園日：毎週火曜日（祝・休日の場合は開園し、翌日休園）※3月16日～5月9日は無休

◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から
「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 1 時間

◆URL：<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasial/>

◆住所：横浜市旭区上白根町 1175-1

◆問合せ先：045-959-1000

※よこはま動物園ズーラシアでは、ご来園の皆様へ下記の点について、お願いしております。

・発熱や咳等の症状のある方はご来園をお控えください。

その他詳細はホームページをご確認ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いします。